

第 298 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 26 年 2 月 4 日 (火) 11:50~13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] うご☆らじ
[放送日時] 平成 25 年 12 月 24 日 (火)、平成 26 年 1 月 7 日 (火)、
1 月 15 日(水)、1 月 16 日 (木)
各 12:20 ~12:25 もしくは 15:20~15:25
[出演者] 西連地あゆみ (火・木)、小幡芙美 (水)
4. 出席者 [委員] 委員長 出口泰規 副委員長 谷川眞理
委員 小野晃司 委員 山本りさ
[会社] 代表取締役社長 祐嶋繁一
常務取締役 上野豊
放送本部長兼編成制作部長 久保田克敏
編成制作部副部長 寺田和史
5. 事務局報告
 - 平成 26 年度予算編成方針について
 - AM 局の FM 波移動の方針、動向について
6. 番組審議
[対象番組] うご☆らじ
[放送日時] 平成 25 年 12 月 24 日 (火)、平成 26 年 1 月 7 日 (火)、
1 月 15 日(水)、1 月 16 日 (木)
各 12:20 ~12:25 もしくは 15:20~15:25
[番組内容] ムーヴィングナビゲーターの西連地あゆみ、小幡芙美が静岡県内を中心
に営業要請のあったスポットから生中継レポートを行う。今回は西
連地担当の 3 回、小幡担当の 1 回を試聴。

[聴取・合評での主な意見]

谷川副委員長 その場所に出掛けて行って話を聞く意味があると思う場所と、太陽光発電設備事業の会社のように、出掛けて行って話を聞く必要性がないものもある。限られた時間でレポートを仕上げる必要があるのが難しいとは思いますが、取材先の場所、内容、雰囲気によってはもう少し現場感が欲しい。リポーターの個人的興味がなかったり、得意分野でなかったりする

と、ただ先方の説明を聞いているだけ、というものがある。太陽光発電設備については、その典型だ。

こうしたレポートものを聴いていると、以前のようにそのレポートの中で情報の5W1H全てを伝える、というより、一部を伝え、あとはリスナーの興味次第でリスナーがWEBなどで調べることを前提にして、番組が作られていると感じる。リスナーもそういうスタイルで良しとしているのだろう。

山本委員

放送連動のブログがあるのはよい。西連地さんも小幡さんも声ははっきりしていてよい。車内クリーニングの企業を紹介する回で、西連地さんがラジオカーの中で和菓子を食べて、小豆の粒を落としたエピソードを紹介し、どう掃除したらよいかを尋ねているが、こういう場合は実際にその場で掃除し、その様子をレポートする方がよい。

小野委員

スポンサーの方は、時間が限られているので自分が伝えたいことが全て伝えられないと思うことがあるだろうし、レポーターの方はテンポよく伝えたいと思うので、両者の思いが一致するというのは大変だろう。全体的には聴きやすいが、ライブ感、現地感はもっと必要だ。花鳥園であれば、鳥の鳴き声を聴かせたり、車のクリーニングであれば車を磨く音など作業の音を聴かせたりした方がよい。出向いて行く意味が少しでも感じられる演出を心掛けて欲しい。また、毎回必ず統一して、レポート冒頭で「今日は〇〇市△△町のどこそこから・・・」という場所のアナウンスを入れて欲しい。

出口委員長

わざわざそこへ出掛けていった意味が感じられない。現地へ行って話を聞いているのか、スタジオで聞いているのかわからないような場合がある。ロケーションの描写が少ない。試食をする場合、味を言葉で表現するのは難しいことだが、「おいしい」「甘い」だけでは伝わらない。いろいろな表現のし方を研究して欲しい。

会社サイド

前回（第297回）では、レポーターのインタビュー方法や、一自治体の情報を県下全域で放送する際に留意することなどについてご意見をいただきました。番組づくりの参考とさせていただきます。今回（第298回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

7. 次回開催日 平成 26 年 3 月 4 日 (火) 11:50~13:30 を予定

以上

番組審議会委員長

出口 泰 規